

# 古典セミナー 第二回『黄帝内経』講義

講師：宮川浩也先生



【日時】2021年12月26日（日）14時～16時

※第三回：2022年2月27日 開催予定

【定員】100名まで

【参加費】無料

【開催方法】WEB開催（Zoomミーティング）

【参加条件】掌友会会員（卒業生および在校生）であること／掌友会メールアドレス登録済みであること

講義概要：

宮川浩也先生による第一回古典セミナーが10月24日（日）にWEB開催され、とても盛況のうちに終了いたしました。そして今回はその第2弾として、同じく宮川先生による『黄帝内経』講義を12月26日（日）に開催いたします。

前回の講義では古典を学ぶ意義や内経学の基礎知識、『素問』や『靈樞』の中から幾つかの篇を取り上げ、そこに書かれている経文とその解釈について、宮川先生独自の世界観を織り交ぜながら、とても丁寧にご説明頂きました。

そして今回のテーマは、、、

『内経』は、どのように「ツボ」を探していたのか。

圧痛、硬結、ほかには何を目安にさがしていたのか。

今からとても楽しみです。皆さん奮ってご参加ください！

講師ご略歴：

1956年：宮城県生まれ。1978年：東京農業大学農学部卒業。1981年：東洋鍼灸専門学校卒業。島田隆司氏に入門。1986年：みやかわ温灸院開業。1993年～：東京衛生学園専門学校非常勤講師。日本内経医学会元会長、日本伝統鍼灸学会元副会長（現相談役）。共編著に『素問・靈樞総索引』（日本内経医学会刊、1993年）、『扁鵲倉公列伝幻雲注の翻字と研究』（北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部刊、1996年）、『素問攷注』（日本内経医学会・北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部刊、1998年）、『黄帝内経明堂』（北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部刊、1996年）がある。『素問・靈樞総索引』は1994年に第8回間中賞受賞（医道の日本社主催）。『黄帝内経明堂』は、1999年に第13回間中賞を受賞。